

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/21 （4/14との比較）	4/21 （4/14との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.47% （▲0.02）	80.86円 （▲0.81%）	+2.0% 2016年4Q	0.50%	CPIは市場予想を下回り、中古住宅販売件数は低下。フランス大統領選挙や米国の政策動向が注目される中、米国国債利回りの動きに連れる形で、国債利回りは小幅低下。カナダドルは対円で下落。	卸売売上高やGDP（国内総生産）の発表などが予定され、景気回復の度合いを探る状況。北朝鮮などの地政学リスクや、欧米の政治経済動向が意識される中、引き続き国債利回りはレンジ内での推移となるとみられる。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	9.89% （▲0.01）	34.67円 （+0.34%）	-2.5% 2016年4Q	11.25%	17日に公表された通貨政策委員会議事録では更なる金融緩和の加速が示唆された。国債利回りは小幅低下。レアルは対米ドルでは下落、対円では上昇。	更なる金融緩和が見込まれることから、国債利回りは低下圧力がかかりやすい状態も、注目される年金改革法案では政府が譲歩するなど財政支出の削減に暗雲。債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Ba2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.04% （+0.00）	5.80円 （▲1.04%）	+2.4% 2016年4Q	6.50%	重要な経済指標の発表はなく、債券市場が全般に小動きとなる中、国債利回りはほぼ横ばい。主要貿易相手国である米国の成長鈍化懸念や原油価格が軟調に推移したことなどから、ペソは対米ドル、対円ともに下落。	GDP（国内総生産）などが公表される予定。引き続き米国の動向をにらみながらの展開が継続し、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を見据え、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
















※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェー）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/21 (4/14との比較)	4/21 (4/14との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.54% (+0.06)	82.30円 (▲0.03%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	中銀の政策委員会議事録では当面の金融政策姿勢の維持が示唆され、企業景況感改善。欧州政治動向や北朝鮮などの地政学リスクなどが意識される中、国債利回りは上昇。オーストラリアドルは対円で小幅下落。	CPIの発表や中銀総裁の講演が予定され、今後の金融政策を見る材料に。引き続き地政学リスクに加え、欧米の政治動向もにらみながら、国債利回りとおーストラリアドルは一進一退の動きを想定。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.97% (+0.04)	76.55円 (+0.71%)	+2.7% 2016年4Q	1.75%	インフレ率は上昇し、中銀目標レンジである2%を2011年以来初めて上回る。サービス業指数や酪農品落札価格も上昇。全般的に好調な経済指標を受けて、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	緩和的な金融政策の維持を行う中銀の姿勢は当面変化しないと見込まれるが、経済指標に持ち直しの動きが見られる中、次の政策変更は利上げ方向との見方が高まる可能性も。貿易収支や企業景況感指数などの発表を予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.59% (+0.00)	12.59円 (▲0.81%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	貿易収支が黒字を維持し、鉱工業信頼感指数もプラスに転じるなど経済指標は堅調。しかし原油価格が大幅に下落したことで経済の先行きに対する懸念が台頭し、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りはほぼ横ばい。	景気が緩やかな改善を続ける中、金融市場の動きは原油価格の影響を受けやすい状況が継続。フランス大統領選挙の結果を受けたユーロ圏の金融市場にも影響を受ける可能性。失業率や小売売上高などの発表を予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
















※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/21 (4/14との比較)	4/21 (4/14との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.69% (▲0.17)	8.31円 (+2.84%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	インフレ率は前年比で鈍化。新財務相はメディアのインタビューで、投資適格格付の回復に努める姿勢を表明。財政面の不透明感の後退から、国債利回りは低下。ランドは対米ドル、対円ともに上昇。	貿易収支などの発表を予定。今月はじめに同国の債務格付を引き下げた格付機関S&P社は更なる引き下げに言及。政治的な不透明感が残ることから債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BB+	6.75% (+0.02)	0.82円 (+0.12%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	貿易統計は輸出入とも市場予想を上回り前年比で大幅に上昇。中銀は市場予想通りに政策金利の据え置きを決定。フランス大統領選挙を控え、リスク回避的な動きから、国債利回りは小幅上昇。ルピアは対円で上昇。	マネーサプライの発表を予定。北朝鮮を巡る地政学リスクやフランス大統領選挙などの政治イベントが意識されるものの、インドネシアは内需中心の経済成長が見込まれ、債券・為替市場ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.89% (+0.10)	1.69円 (+0.18%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	卸売物価指数は前年比で鈍化。20日に中銀は金融政策決定会合の議事録を公表。予防的な利上げへの言及を受けて、国債利回りは上昇。ルピーは対米ドルで下落、対円では上昇。	主要なイベントはなし。世界銀行や国際通貨基金が同国の高い成長率見通しを発表。GST（物品・サービス税）の整備をはじめとする国内改革の順調な進展が好感されやすく、債券・為替市場ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

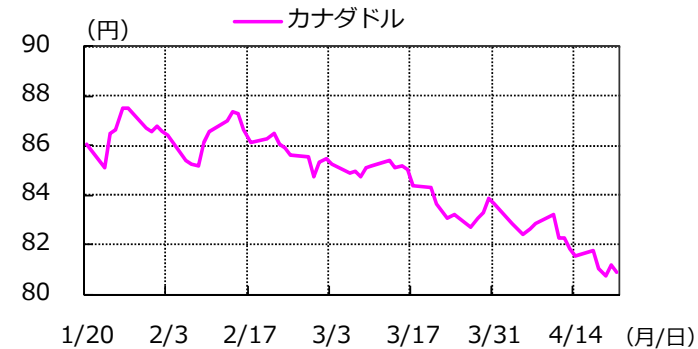
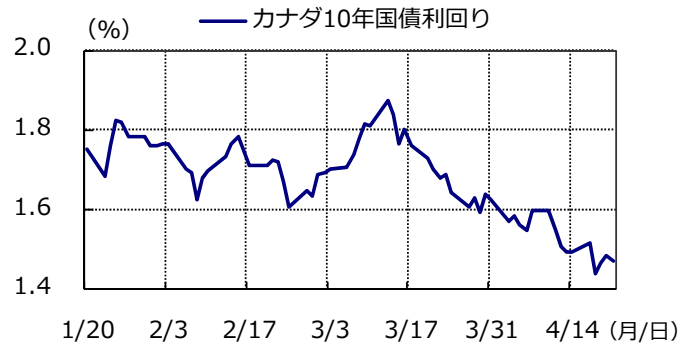
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

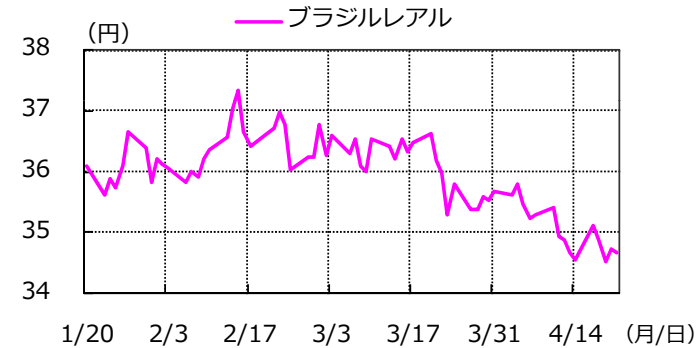
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/1/20～2017/4/21

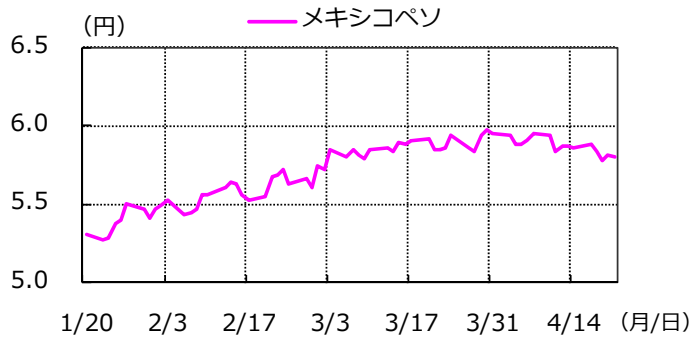
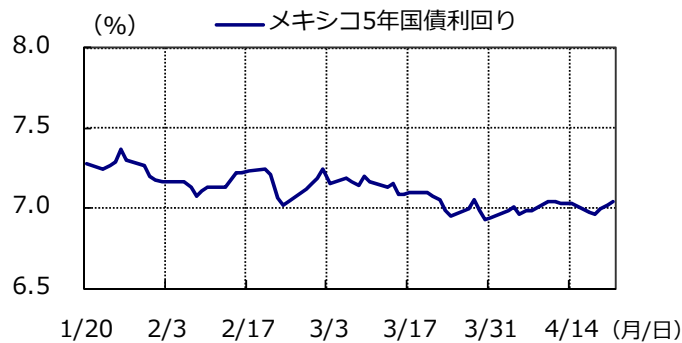
カナダ



ブラジル



メキシコ

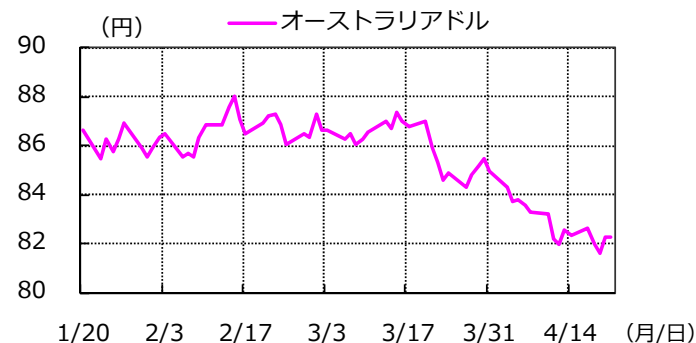
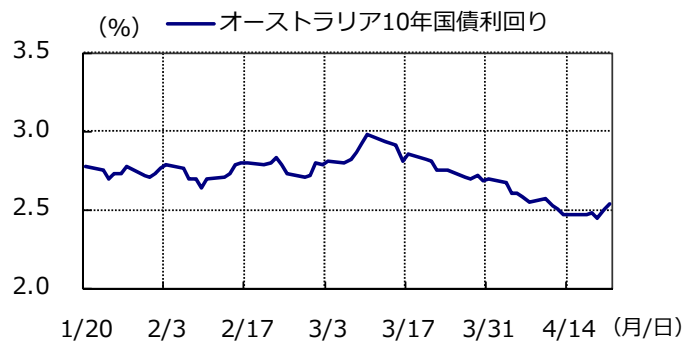


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

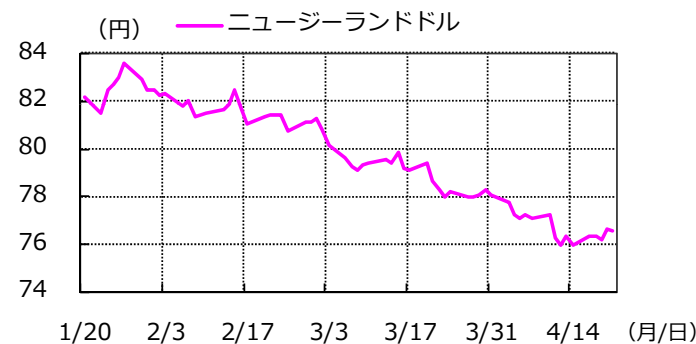
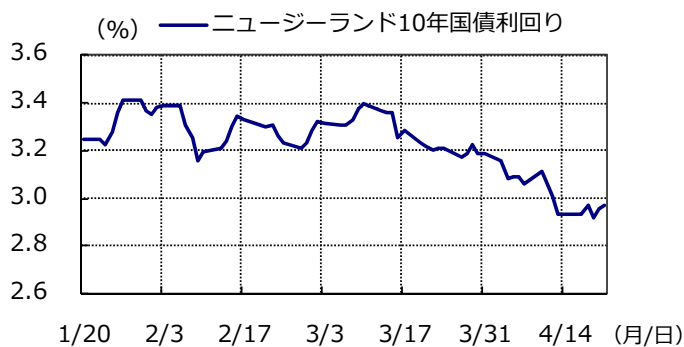
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/1/20～2017/4/21

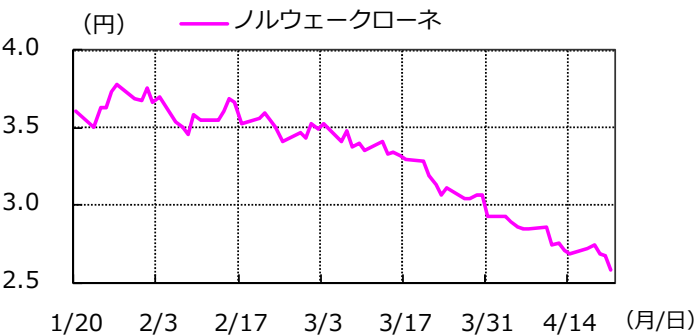
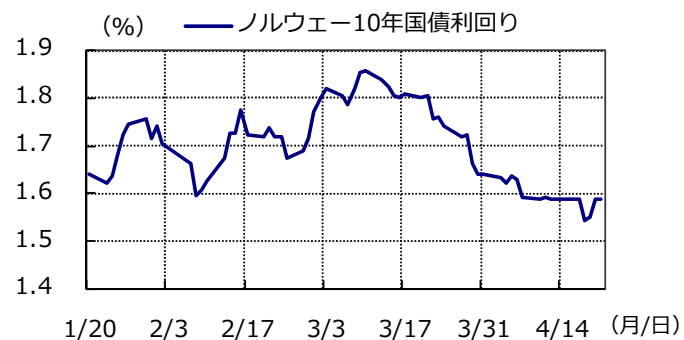
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

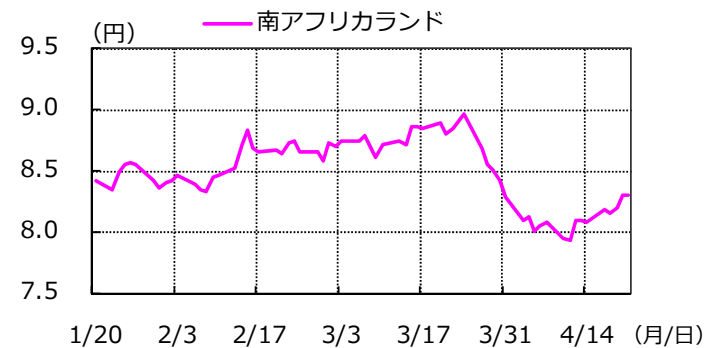
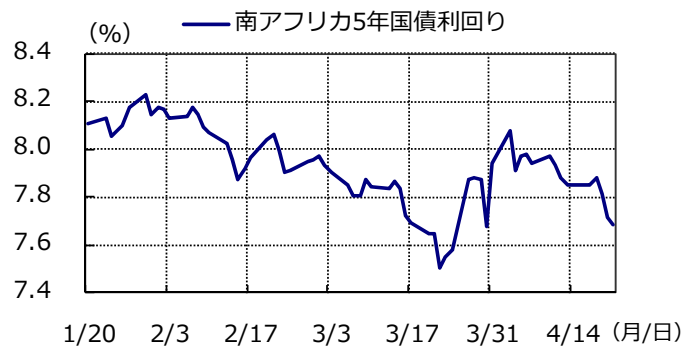


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

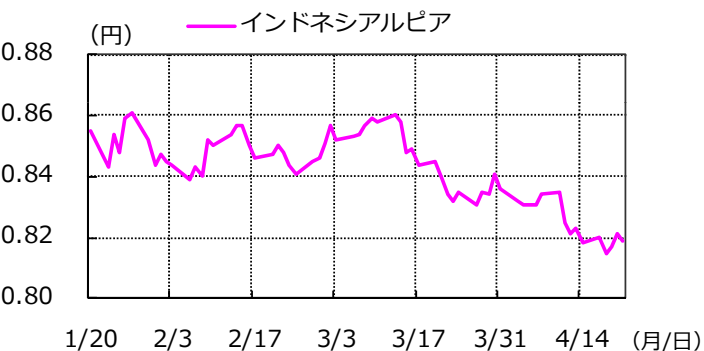
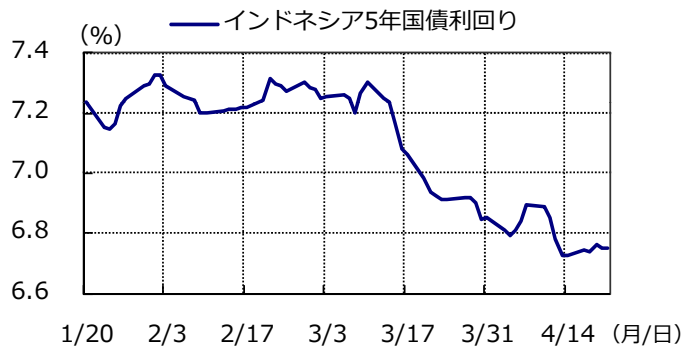
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/1/20～2017/4/21

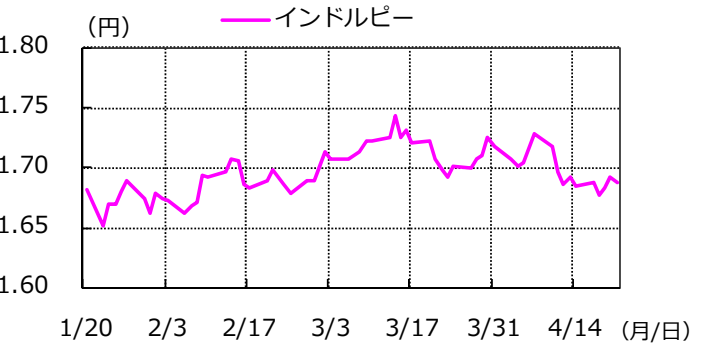
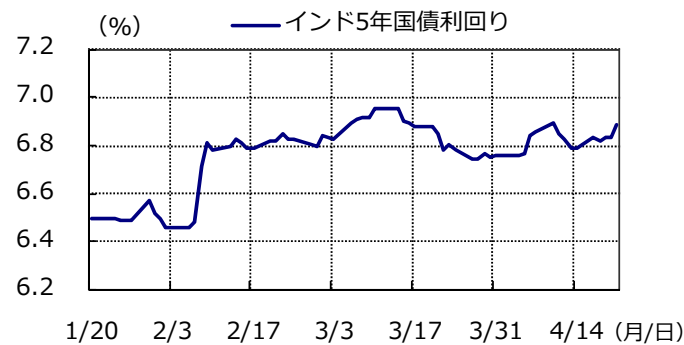
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。